

【報告】図書館国際事業 多文化を知るイベント『世界は広いぞ！知ろう！世界のあれこれ』
～令和3年度 第1回～

1 日時：令和3年7月24日（土）午前10時30分～11時30分

2 会場：鳥取県立図書館 大研修室

3 参加者数：30名（子ども13名、大人17名）

4 講師：キップ・A・ケイツさん（鳥取大学 名誉教授）

5 内容

- ・9か国語を話せるカナダ出身のキップ・A・ケイツ先生に、いろんな国のあいさつ「こんにちは」をどのように言うかや、世界のいろんな「ことば」や「文字」にまつわる、あれこれを教えていただいた。
- ・世界50か国を旅行した経験や体験などを交えた幅広いお話を皆さんが興味津々で聞かれていた。あいさつはコミュニケーションの第一歩、外国のあいさつを覚えて使うことで、世界中の人たちとつながることができると話されていた。
- ・エリック・カール氏（R3. 5. 23没）追悼の意を込めて、『The very hungry Caterpillar（はらぺこあおむし）』英語版のみ、ケイツ先生に読み聞かせしていただいた。

6 様子

- ・感染症対策をとった上での開催。事前申し込みで定員30名に達していた。
- ・当日、参加したいという問い合わせが数組あったが、定員に達していたため、お断りした。
- ・終始、参加者に問いかける形式でのお話。
- ・子どもたちが積極的に手を挙げて発言していた。
- ・終了後、ケイツ先生とお話をされたい方の列ができた。
- ・展示本の貸出もあった。

7 所感など

- ・2020年9月、総務省の「地域における多文化共生推進プラン」が改定され、「図書館は地域住民と外国人住民が交互に交流し、多文化共生に関する理解を深める場づくりを推進する施設の1つとして位置付け」されたことに伴い、国際交流ライブラリーでどんなことが出来るか話し合いを重ねた。
- ・ケイツ先生と相談し、第一回目のテーマとして「あいさつ」「文字」「ことば」が適しているということになり、今回の内容を決めた。
- ・子どもたちにたくさん参加してもらえるように夏休みに合わせて計画。日程はケイツ先生と相談して決めたが、偶然、オリンピック開催と重なり、テーマ的にタイミングが良かったと思う。
- ・子どもが積極的に手を挙げて発言したり、展示していた本を借りられたり、会の前後にケイツ先生とお話されたい方も多く、大人も子どもも世界（外国）に興味がある感じだった。
- ・第二回目も子どもたちが参加しやすい時期に開催できたらと思う。

